

MTM 導入・構築セミナー感想文

医院名 : 岡崎歯科クリニック (富山県富山市)

実施日 : 2012年4月18日・19日・27日・28日

実施内容 : MTM 導入・構築セミナー (1~4日目)

< 歯科衛生士 大橋 様 > (DH 歴 9 年)

今回 4 日間のセミナーを受講して、改めて衛生士とは、ということについて考えさせられました。短いようで、とても中身のこい時間を過ごせたと思います。

自分がこれから出会う患者さんに一体何ができるのか、どう伝えたらいいのか、すべてを一度にすることはできないかもしれないけれど、できることから一つ一つ行動していけたらと思います。

徳本さんが初日に、熊谷先生が資格を持つことは一生学び続けていくことなんだとおっしゃっていたという話がとても心に残りました。

学び続ける気持ちを持ち続けることは簡単ではないと思います。

でも、私も患者さんの前にたっても恥ずかしくない衛生士であるために、その気持ちを忘れないでいたいと思います。

< 歯科衛生士 大橋 様 > (DH 歴 7 年)

講習会ではいろいろと教えて頂きありがとうございました。

自分が勉強不足でわからないことがたくさんあり、悔しいのと情けないの気持ちでいっぱいになりました。

私にとってあの 4 日間はとてもよい経験になりました。勉強の時間を作って下さった岡崎先生にも感謝しています。

私はカメラとデンタル 14 枚を撮ったことがないので、スタッフに聞いて早くできるように頑張りたいです。目標は 6 月の中旬までに仕上げたいと思っています。

プローブ、動揺もすごくわかりやすかったです。プローブも低い位置だと体がすごく楽なのと見えやすかったのでびっくりしました。

これからも患者さんにわかりやすく説明できるように、日々勉強していこうと思っています。本当にありがとうございました。

< 歯科衛生士 若松 様 > (DH 歴 1 年)

今年新卒で歯科医院に勤めて、自分の知識も技術もあまりなく、何からすればよいのかわかりませんでしたが、徳本さんの話をお聞きし、基礎を理解し足りないところは本を読んだり、それでもわからないところは先輩方にお聞きしていく姿勢を忘れずにどんどん学んでいこうと思いました。今まではこれを練習しよう、あれを練習しようとはとなくやっていたところがあったのですが、徳本さんのお話のようにしっかり何日までにここまで出来るようにしますと目標を立てて行なったほうが、口腔内写真のように身に付きやすいと思ったので、目標をたててできることを増やしていきたいと思います。

唾液検査では手順が違っていただけに気付きましたし、できるだけ患者さんの前で検査を行ったほうが、患者さんも関心を持ってもらえると思ったのでとりいれていきたいと思います。検査結果の説明でも、カリオグラムを使って見せたほうが自分もわかりやすかったです。検査の判定や入力も間違いやすいところもありましたが、上手く使えば患者さんも理解しやすいとてもよい媒体なので、利用できるようにもっと自分でも使用してみようと思います。

4 日間で MTM、う蝕、歯周病の病因論、口腔内写真、プロービングなど多くのことを学びました。正直なところ情報が多くとまどうところもありましたが、本を読んだりお聞きしたりして、しっかり理解していきたいと思います。

ありがとうございました。

< 歯科衛生士 日下麻美 様 > (DH)

今までの自分は外科的な考え方でした。

腕のいい歯医者とは、いい治療をし、補綴が上手い先生だと思っていました。

今回、徳本さんの講義を聞いていて、とても恥ずかしい思いでした。

徳本さんのお話一つ一つとても納得ができ、患者さんにとって何が一番の利益になるのかという事を改めて考えさせられました。

少しずつになるかもしれませんが、知識と技術を身につけ、歯科医院と患者さんの為になれるよう成長していきたいと思いました。

サリバテストの結果説明の実習では、何を患者さんに伝えないといけないのかという事がちゃんと理解することができたのでよかったです。

まだまだ説明は下手ですが・・・。

4 日間、本当にありがとうございました。

< 歯科助手 大島奈穂 様 >

今回は4日間のセミナーのために富山まで来て頂き、ありがとうございました。

岡崎歯科クリニックが MTM をやるようになってから、何が正しいのか分からず不安なまま業務を行っていました。

今回 MTM について詳しく教えて頂いたので、間違っていたことや初めて知ったこともあり、大変勉強になりました。

初診の患者さんに MTM の流れを説明し、唾液検査を勧めるのは今まで 2 回したけれど、患者さんに理解してもらうためにどう説明したらいいのか悩んでいました。スタッフ全員の説明しているところを聞いたことがなかったので、一人一人の説明を聞いていると、何を話せば相手に伝わるかがよく分かり、自分の説明の改善点が見えてきました。セミナーで練習した後、患者さんに説明する機会があったのですが、患者さんがどうして歯を失ったのか自ら話して下さり、快く唾液検査を受けるとおっしゃってくれました。このことで自身もついたので、より患者さんに伝わりやすいような説明が出来るようになっていきました。

サリバテスト結果説明をすることは無いのですが、受付で結果を作っているのでも、結果を診ながら自分なりの予防プログラムを考え、担当衛生士さんに伝えるなど、助手も衛生士も全員で業務を行える体制になったと感じます。ただ、患者さんが担当制ではなく、検査をした人と結果を判定する人、結果を作成する人、説明するひとが一緒ではないので分かりにくい部分もあります。せめて検査を行うのと説明するのが同じ衛生士さんになるように改善していかなければいけないと思いました。

今回のセミナーで全員が MTM について正しい知識を身につけたことで、患者さんがより MTM に理解を示してくれるのではないかと思います。そのためにスタッフ全員で協力し合い、頑張っていきたいと思います。

今回は本当にありがとうございました。

< 歯科助手 五十嵐咲紀 様 >

セミナーを聞いて、なぜ義眼や義足が珍しいものと感じるのに義歯は一般的とされているのか？という問いかけが印象的で、日本の歯科医療が遅れをとっている事にとっても驚かされました。

予防の大切さを学んでいるうちに、いつの間にか私自身が患者さん目線で話を聞いていて、私が歯医者を選ぶとしたら、日吉歯科のような患者に寄り添いながらも、一から育ててくれて、一緒に改善し綺麗な歯を保てる歯医者を選びたいと思うようになりました。

自分の口内を全て任せることが出来ず、今自分がどんな状態にいるのかははっきりわからな

かったのが自分自身で把握でき、コミュニケーションを通じて明確になるのはすごく魅力的です。岡崎歯科がそういう魅力的で数多くある歯医者の中から選ばれる歯医者であるように、患者さんと同じ目線に立ち、些細な疑問にも丁寧に答えたいなど、私にもできる小さい心配りを積み重ねていけたらと思います。

< 歯科助手 浅生沙織 様 >

歯科助手という立場では専門的な詳しいことはよく分かりませんでした。徳本さんのおっしゃった「患者さんには衛生士並みの知恵を・・・」といった言葉が忘れられませんでした。

助手と言えども患者さんよりは知識も持っていなければなりません。自分なりに勉強はしているつもりでしたが、より深く知っていなければならないと思いましたので、衛生士向けの本だから・・・と思わず読んで知識をつけなければいけないと思いました。

サリバテストをすすめる際もなぜ重要なのかを伝えていかなければならないと思いました。直接患者さんを指導することはできないけれど、情報を伝える（提供する）と言う違った形で患者さんをサポートできたら良いと思います。

28日最終日に見たスライドを見て、日吉歯科の日常が少し分かり良かったです。

システムが変わりまだ日が浅いので、すべてが手探り状態なので大変ですが、徳本さんの楽しくて分かりやすいセミナーを受講できたこと良かったと思います。

4日間という短い間でしたがありがとうございました。

以上。